

1. 教員養成の目標及び目標達成のための教育計画

看護学科

① 教員養成の目標

看護学部看護学科では、看護師に必要な医学や看護学の知識や技術を基盤に、健康の回復や保持増進、疾病予防のために必要な看護援助ができることに加え、学校現場で発生する感染症や傷病、事件・事故の予防、またそれらの発生時の対応・事後措置が適切かつ迅速にできる危機管理能力の高い養護教諭の育成を目指している。また、学校のチームの一員として主体的に児童生徒等の健康課題の解決に向けて教育実践ができる看護師免許を持った養護教諭の養成を行っている。

② 目標達成のための教育計画

看護学部看護学科では、看護師、保健師の国家試験受験資格を取得するために看護学を支持する共通科目、専門基礎科目、看護学の専門科目で構成された教育課程を基盤に養護教諭の資質の向上に取り組む教職課程を準備している。

看護学の基盤となる教育課程を軸に、教職専門科目では、1年次から教員としての基礎力を学ぶ科目の履修を開始している。2年・3年次は、教育の基礎的理解に関する科目や養護に関する科目等を学び、養護教諭としての使命や役割を獲得できるように履修科目を配置している。4年次は、学校現場において教育実習（養護実習）を3週間行い、児童・生徒への保健管理や保健教育の実際を体験する。実習期間中は、教職担当教員が巡回指導を行い学修の支援を行っている。併行して、1年次より教職担当教員が随時面談を行い、必要な履修科目や教育実習等に関する様々な相談に応じるなどきめ細やかな指導を継続実施し、学校保健を担う養護教諭の基礎的能力を看護学の専門的知識・技術を持つ実践的な養護教諭を養成する教育を行っている。